

CompTIA認定資格（2022年7月現在）

IT Fundamentals+

Core

PCやスマートフォン、タブレットなどのハードウェアコンポーネントと機能、互換性やネットワーク、セキュリティ、基本的なITリテラシーに関するスキルを評価する認定資格。

A+

Core

PCやタブレット、モバイルといったハードウェア、Windows、iOSやAndroidなどのOS、クライアントサイドのセキュリティに必要なスキルなどを評価する「ポストPC時代」の人材育成に最適な認定資格。

Network+

Core

「ネットワーク技術」に携わる職種において、実務上共通して必須なネットワークの構成、運用、トラブルシューティングなどスキルをはじめ、セキュリティや、ツールを用いたトラブルシューティングなどのスキルを評価する認定資格。

Security+

Core

セキュリティ概念、セキュリティの脅威や脆弱性、ツール、対応手順に関連するスキルや、セキュリティインシデントの発生を予防するため定期的に実施されるべき運用手順などのスキルを評価する認定資格。

CASP+ CompTIA Advanced Security Practitioner

Cybersecurity

エンタープライズセキュリティ、リスクマネジメント、調査と分析、システム統合、企業でのセキュリティ規則やコンプライアンスなどの幅広いセキュリティへのスキルを証明する高度なセキュリティ実務者を対象にした認定資格。

CySA+ CompTIA Cybersecurity Analyst+

Cybersecurity

ITセキュリティアナリスト、脆弱性アナリスト、脅威インテリジェンスアナリストを対象に開発され、脆弱性、脅威、リスクを特定し対策を講じるといったスキルと知識を評価する中級レベルのワールドワイドの認定資格。

PenTest+

Cybersecurity

ペネトレーションテストの手法、脆弱性評価、攻撃があった際にネットワークを回復するためのベストプラクティスを学び、組織におけるITセキュリティ全般的な状態の改善を図るための戦略を提案できるスキルを評価する認定資格。

ビジネス・コミュニケーションスキル診断

ビジネスの集団の一員として、仕事の成果をあげる、事業目的の達成に貢献するといった目的をもった個人が主体となりコミュニケーションを行う目的やビジネスのゴールに近づくために必要なスキルを分析。

Cloud+

Infrastructure

クラウドの運用やクラウドサービスの提供など、クラウド環境で業務を実行するITエンジニアが必要とされるセキュアなクラウド環境の実装と運用・管理、仮想化などの技術に対するスキルを評価する認定資格。

Linux+

Infrastructure

特定のベンダーに偏らず網羅的に複数のLinuxディストリビューションのスキルを育成できる、Linuxシステムへのより汎用性の高いスキルを評価する認定資格。

Server+

Infrastructure

サーバーの構築、管理・運用において、サーバーの役割や仕様、環境問題の特定、災害復旧や物理セキュリティ、ソフトウェアセキュリティの理解と実装、トラブルシューティングなどについてのスキルを評価する認定資格。

Data+

Data & Analytics

データドリブン型の意思決定をサポートし、ビジネス要件を変革するために必要とされるスキルと知識が網羅された、データ分析の18～24カ月程度の実務経験で得られる知識やスキルを評価する認定資格。

Project+

Professional

小規模から中規模プロジェクトを遂行する際に必要とされる知識を体系的に学習することができ、業界を問わず、プロジェクトマネジメントに必要な標準知識とベストプラクティスに基づく“実務能力”を評価する認定資格。

Cloud Essentials

Professional

ビジネス、または技術的側面から見たクラウドコンピューティングの意義やクラウドの導入によるメリット / デメリットを判断し運用できる知識とスキルを証明する認定資格。

CTT+

Professional

インストラクターをはじめ、人事 / 教育部門、管理職や高等教育機関に従事する人のプレゼンスキル、コミュニケーションスキルを問う「人と向き合う業務」に必要な“実務能力”を評価する認定資格。

CompTIA® CompTIA 日本支局
www.comptia.jp

facebook.com / CompTIAJP twitter.com / CompTIA_JP

202207 Ver2.0_CompTIA brochure

CompTIA®

www.comptia.jp

CompTIA (コンプティア)

1982年、様々なIT規格の標準化を提言するため、ITベンダーとパートナー企業がオープンな対話を行う場となるべくグローバルなIT業界団体としてシカゴで設立。1990年、IT業界の活動を反映するべく、名称をCompTIA (the Computing Technology Industry Association) に変更。欧米を中心とし10拠点に拡大し、2001年4月にCompTIA日本支局を設立。CompTIAは、ICT業界を中心にした2,000社以上のメンバー企業、3,000社以上の学校機関、トレーニング関連の企業とのパートナーシップを締結し、数万人を超えるITプロフェッショナルのコミュニティを運営。IT業界団体として、ITハードウェア / ソフトウェア、サービスを提供する企業や、業界のキーとなるITプロフェッショナルなどの成功と成長に貢献できるよう、ITに携わる企業や個人の利益を高めるための「教育」、CompTIA認定資格での「認定」、IT業界の声をIT政策に反映するための「政策支援活動」、IT業界への「社会貢献」の4つを柱として活動を続けています。

CompTIA 認定資格

1993年、IT環境の変化に伴い、ITを管理する人材の必要性の高まりから、ビジネス環境において利用されているITハードウェア / ソフトウェアを理解し、より複雑なIT環境の管理 / サポート / 運用を行うスキルを評価するCompTIA A+ の提供を開始。その後、時代のニーズに即した人材を効率的に輩出できるように認定資格が開発されています。CompTIA認定資格は、業界のエキスパートにより開発され、実践力、応用力を評価するベンダーニュートラルの認定資格として、法人を中心にワールドワイドで200万人以上に取得されています(2018年4月現在)。CompTIA認定資格のIT業界各社による試験開発プロセスの信頼性と有効性が認められ、米国規格協会 (ANSI) によりISO17024に認定されています。

ワールドワイドで活用されるCompTIA

IT業務での「実務能力」を評価する
唯一の認定資格
ワールドワイドで250万人以上が取得
(2021年6月現在)

ベンダーニュートラル/テクノロジーニュートラル
CompTIA 認定資格は、ベンダーニュートラル、テクノロジーニュートラルな認定資格です。中立的な立場で、ITスタッフが業務やキャリアにおいて必要とするスキルを提供します。

グローバルスキルスタンダード
CompTIA 認定資格は、「業界の業界による業界のための認定資格」です。ワールドワイドの試験作成委員会が中心となり、ニーズ調査、職務分析やリサーチを経て、SME（サブジェクトマターエキスパート）と呼ばれる現場関係者により開発が進められます。

世界的評価
CompTIA 認定資格のIT業界各社による試験開発プロセスの信頼性と有効性が認められ、米国規格協会 (ANSI) により ISO17024 に認定されています。

グローバル
CompTIA 認定資格は、165 以上の国と地域で配信され、グローバルスキルスタンダードとして高く認知されている認定資格です。CompTIA 認定資格を取得することで、日本国内だけではなく、世界中でスキルを証明することを可能にします。

スコープ
CompTIA は、エントリーレベルの人材からエキスパートの人材まで、様々なIT業務や時代のニーズに即した人材を効率的に育成することを目的とした認定プログラムを提供しています。

キャリアパス/ロードマップ
CompTIA 認定資格を取得することにより、他認定ベンダーから提供されている認定資格へのキャリアパスの基盤を作ることができます。また、他ベンダーで提供されている認定資格での実務経験を免除される等のキャリアパスがあります。

CompTIA認定資格の特徴 1

クラウド時代に本当に必要なスキルを身に付ける
強固なスキル基盤を育成する
ベンダーニュートラルなCompTIA認定資格

クラウドコンピューティングへの移行を進める中で、企業は、既存のITスタッフの人材育成の見直しや、新しいITスタッフの雇用など、IT部門の再構築を進めています。クラウドの設計・構築、実装、運用、すべてのフェーズにおいて、正確な各技術の実践力が求められます。また、様々なクラウドサービスの提供に対応するため、ベンダーに依存しないスキル基盤も必要となります。
CompTIA では、それぞれの要素技術において、必要なスキルを育成できる認定資格を提供しています。ますます加速するクラウド環境で活躍する人材を育成するため、強固な**スキル基盤**を作ること、企業にとって**最優先事項**となっています。

CompTIA認定資格の特徴 2

世界中で信頼を支える人材の証
米国国防総省の情報保証を支える
CompTIA認定資格

米国国防総省 (DoD) では、PC利用者から管理者まで、情報保証に携わる全ての人材に対し、業務に就く際に、業務内容や役割に応じ CompTIA A+、CompTIA Network+、CompTIA Security+、CompTIA CySA+、CASP を取得することを**必須**としています。

これらの資格は、ISO (国際標準化機) および ANSI (米国規格協会) より、ISO17024 を取得しています。これにより、国際的に認知された品質規格に準拠していることが証明されています。

CompTIA認定資格の特徴 3

全ての職種で必須となる
業務において「真のITスキル」を
評価するCompTIA認定資格



CompTIA 認定資格の特徴は、特定のベンダーや製品に依存しない(=ベンダーニュートラル)。特定のテクノロジーに特化しない(=テクノロジーニュートラル)であることが挙げられます。認定資格試験では、単に「IT知識」を問うだけではなく、様々な業務の場面において最適な技術や方法を選択することができる「**真のITスキル**」を評価します。

下記のような職種で活躍するためには、CompTIA 認定資格で問われるスキルは、必須のスキルとなります。

- インフラエンジニア
- ネットワークエンジニア
- セキュリティエンジニア
- カスタマーサポートエンジニア (CE)
- コールセンタースタッフ/テクニカルサポート
- セールスエンジニア/営業

また、認定資格を導入いただいた企業の多くが、認定資格取得の効果として、以下をあげられています。

生産性の
向上

顧客
満足度の向上

従業員
満足度の向上

売り上げの
向上

CompTIA 認定資格のキャリアパス

